

すみなか

墨田区男女共同参画情報誌

— すみだ共生社会推進センター —

2026
No. 100

特集



これまでの10年
これからの10年

CONTENTS

P.2 巻頭インタビュー

俳優・大学教授

いとう まい子 さん

自分軸で生きることの大切さを伝えたい

特集

P.4



これまでの10年
これからの10年

P.8 すみだからはじまる物語

P.9 あなたの夢おしえてください

P.10 すみなかインフォメーション

P.12 こんにちは すみださん Interview



こんにちは すみださん

墨田区 副区長

岸川 紀子 さん



すみなか

すみだ共生社会推進センター

45歳で大学進学という
新たな挑戦。その原動
力は？

「社会に恩返しをしたい」
という思いがだんだんと大
きくなったことが、大学進
学の原動力です。23歳で「地
獄」に落ちて、20年かけて思
い至ったことでした。

実は23歳の頃、脱ぐ仕事
を断ったことで事務所を去
りました。その後はいわゆ
る干された状態で、仕事が
激減し、まさに「地獄」でし
た。そうなる「現場の監督
やスタッフに気に入られな
くては」という思いが強
くなって。例えば「もつと太
人っぽくないとダメ」などと
よく言われるなか、気に入
られたい一心で、髪を伸ば
し、メイクを濃くし、ダーク
な色の服を着て、それはも
う必死になっていました。自
分がどうありたいかではな
く、認めてもらいたい、好

巻頭インタビュー

俳優・大学教授

いとう まい子

さん

ITO Maiko

自分軸で生きることの
大切さを伝えたい



Profile

1983年(昭和58年)にアイドル歌手としてデビュー。俳優として活躍する一方、テレビ番組制作会社ライトスタッフ代表取締役社長を務める。45歳で早稲田大学に入学し、医療・福祉ロボットを研究。現在はIU教授も務める。





れたいと他人軸で生きるようになってしまったんです。

そんな時期に、兄夫婦から預かったゴールデンレトリバーのアトムとの新しい暮らしが始まりました。アトムは、嬉しければ喜び、悲しければ悲しそうな顔をする。ただひたすらに自分らしく生きる姿を見て、「これが本当に生きるということなんだ」と気づかされました。それから髪を切り、着たい服を着て、濃いメイクもやめました。「それで仕事が

なくなるなら、それが自分の運命」、そう思えるようになる、不思議と新しい仕事に恵まれるようになりました。そうすると感謝の気持ちも強くなり、すべての人のおかげで自分は生かされている、恩返しをしたい、そんな気持ちに至るようになったのです。

結婚と同時期の進学。仕事との両立はどうでしたか？

夫は大学進学を「いいね、行くべきだよ」と応援してくれました。入学時の面接では「あなたみたいな人はすぐ辞める」と言われたこともありましたし、実際に大学での学びはかなり厳しくて、仕事との両立は大変でした。テストとロケとレポートが重なって、帯状疱疹になったことも。それでもアイドル

時代の大変さを思えば、乗り越えられないことはなかったです。レポートが間に合わなさそうになると、「あなたはずなぜ学びたいの？恩返しをしたいんでしょう？」と自分を鼓舞してやりきりました。

予防医学を学びたくて入学したものの、希望していたゼミが教授の定年退職で叶わなくなり、悩んでいた時に学生から勧められ、まったく未経験だったロボット工学の道に進むことになりました。その後は大学院へ進み、さらに基礎老化学へと研究分野も変わりました。「地獄」の経験から、衝突する前に人の話を素直に聞き、柔軟になろうと決めていたので、予想外の展開にも、前向きに取り組んできました。自分の興味や、誰かが開いてくれた扉の先を見てみたい、そんな心に突き動かされて進んでいます。

墨田区[※]のIUの教授として何を教えていますか？

私はIUで、学生たちに「ヒューニング」を教えてくださいます。「ヒューマン+チューニング(調節)」の造語です。理不尽に対処して自分軸に戻る、その調節スキルがあるだけで、人は幸せになれると思っています。辛い状況に陥りやすいのは、これまでに作られた考え方の癖があるから。水が半分入ったコップを見て、「半分しかない」と思うか「半分もある」と思うか。出来事は一つでも、見方は一つではありません。マイナスに考えてしまう時、大切なのは「あ、また考え方の癖が出てきたぞ」と気づくこと。気づけば違う見方に切り替えることができます。学生と毎週、嫌だったこと・楽しかったことを共有しながら、この訓練を続けています。

読者へのメッセージ

幸せの形は人それぞれ。だから私は、まず自分自身を幸せにすることが大切だと思っています。実は夫と結婚する時も、彼が「幸せにするよ」と言いかけたので、「人が人を幸せにできるわけじゃないから、それは言わないで」と止めたことがあるんです(笑)。自分が幸せになったら、周りを幸せにできる。幸にも不幸にも、心の持ち方次第でなれる。まずは自分を大切にすることから、始めてみてください。



※IU=情報経営イノベーション専門職大学

この取材は2026(令和8)年6月17日に行いました。



これまでの10年



これからの10年



▲すずかけ創刊号

1986(昭和61)年に「すみだ女性センター」の啓発冊子「すずかけ」として誕生した「すみなか」は、昭和、平成、令和と3つの時代にわたり発行され、今号で通算100号を迎えます。40年間、発行時期やページ数など色々な変化を遂げながら区民編集委員の協力によって作り続けられています。

創刊号から78号までは単色カラーだった誌面が、墨田区男女共同参画情報誌「にじ」と統合されたのを機に79号(2015<平成27>年4月)よりフルカラーとなりました。

2024(令和6)年4月に「すみだ女性センター」が「すみだ共生社会推進センター」と名称を変更したことに伴い、当冊子名も「すみなか」に改称されました。「特集」もその時々で様々な話題を取り上げてきました。今号では、時代の流れを追いながら、80号から99号までの「すみなか」の10年を振り返ります。あわせて、墨田区基本構想をもとに、墨田区が目指す10年後の未来像を紹介します。

※1号から49号は「すずかけ」50号、50号から79号は「すずかけ」80号に掲載しています。

No.80

2015.12
平成27年



すみだ女性センター 開館25周年すずかけまつり

「東京スカイツリー®」と共に輝く未来へ!!
80号記念 すずかけの歩み

No.81

2016. 7
平成28年



女性活躍推進法 「女性の活躍を応援する 法律ができました」

男女共同参画に関連する用語の解説

No.82

2016.12
平成28年



まちに出かけよう ～みんなの寄合い処～

ふじのきさん家／キラキラ茶家／
みどりコミュニティセンター／
本所地域プラザBIG SHIP

No.83

2017. 8
平成29年



知りたい、見たいすみだの小学校

すみだ教育指針/英語活動(業平小学校)/
人権教育(梅若小学校)

赤
青

は墨田区の出来事

は世の中の出来事です



2012(平成24)年

- 3月 区内循環バス「すみま
るくん」「すみりんちゃん」運
行開始
- 5月 「東京スカイツリー®」
開業

2013(平成25)年4月

ひきふね図書館 オープン

2016(平成28)年

内閣府は国連での2030年ま
での持続可能な開発目標「SDGs」
採択を受け、「SDGs推進本部」
を設置。SDGsの目標の一つと
してジェンダー平等の実現が示
された

2016(平成28)年11月

すみだ北斎美術館 オープン

No.84

2018. 1
平成30年



LGBTとは? 「すずかけ大学」講義より

LGBTってなんだろう?～互いの違いを受け入れあえる社会をめざして～/
女性のためのココロ元気講座/
すずかけひろば講演会

No.85

2018. 8
平成30年



男女共同参画について 考えてみませんか? ～墨田区男女共同参画に 関する調査より～

No.86

2019. 1
平成31年



正しく知ろう 認知症

認知症とは/認知症を正しく知り、向き合うためには

No.87

2019. 8
令和元年



知っていますか? “ゲートキーパー” ～あしたにつなごう、大切ないのち～

No.88

2020. 1
令和2年



応援しよう! 東京2020パラリンピック パラリンピックの歴史/パラリンピックの競技について

No.89

2021. 1
令和3年



コロナから見えてきたもの コロナの及ぼす影響/女性リーダーの活躍/ 海外の取り組み/ すみだ女性センターは開館30周年を迎えました

No.90

2021. 8
令和3年



日本の ジェンダーギャップを考える ～もっと女性の広がる未来へ～

No.91

2022. 1
令和4年



元気をもらえろ 地元のふれあい たもんじ交流農園/本所地域プラザBIG SHIP/ 地域で体操 立一ふれあい委員会/ 湯処・語らい亭

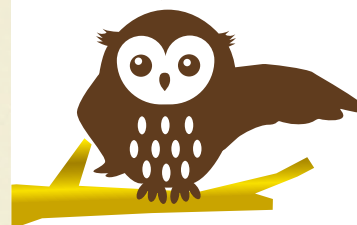
No.92

2022. 8
令和4年



すみだで暮らす 外国の人々と日本語 すみだ国際学習センター/文花中学校夜間学級/ ひらがなネット/やさしい日本語ハンドブック

区のホームページで
バックナンバーを
ご覧いただけます



2019(令和元)年5月

元号が「平成」から「令和」へ改元

2020(令和2)年1月

新型コロナウイルス感染症の国
内初の感染者が報告された

2020(令和2)年6月

「TOKYO mizumachi(東京
ミズマチ®)」が向島(東武スカ
イツリーラインの高架下)に
オープン

2021(令和3)年7月から8月

東京オリンピック開催

2022(令和4)年10月

育児・介護休業法改正(パパ
の育児休暇制度でなく出生時
育児休業「産後パパ育休」が
創設)

No.93

2023. 1
令和5年



ごみへの意識が未来を変える

すみだ清掃事務所/墨田清掃工場/
すみだ清掃事務所業平待機所/
すみだリサイクルセンター

No.94

2023. 8
令和5年



関東大震災から100年 もう一度 防災について 見直してみよう

No.95

2024. 1
令和6年



「すみだ女性センター」は 「すみだ共生社会推進センター」に 名称を変更します

座談会 今まで、そしてこれから
(岩田道子氏、木部伸子氏、西澤直子氏)

No.96

2024. 8
令和6年



今、墨田区の学校給食は…

給食の歴史/第二寺島小学校の取り組み

No.97

2025. 1
令和7年



あなたに寄り添う「すみなか」活用法

「すみなか」の委員会と事業を紹介します

No.98

2025. 8
令和7年



アンコンシャス・バイアス 無意識の思い込み

みなさんはどう感じますか？
身近にある男女間のアンコンシャス・バイアス

No.99

2026. 1
令和8年



墨田区シルバー人材センター

地域を支える高齢者のパワーを
シルバー人材センターから発信
35周年 すみなかまつり

2023(令和5)年

- 3月 すみだ郷土文化資料館リニューアルオープン
- 4月 墨田区女性と男性及び多様な性の共同参画基本条例が施行

「すみなか」は「すみだ」の
「すみ」と「真ん中」「仲間」
「仲良し」の「なか」を組み
合わせた造語です



No.96から情報誌「すみなか」に変わりました。
2023(令和5)年9月に、すみだ共生社会推進
センターの愛称を公募し、運営委員会におい
て「すみなか」を選定したうえで、区として正式
に決定しました

2024(令和6)年

- 4月 「すみだ女性センター」から「すみだ共生社会推進センター」へ名称変更
*愛称は「すみなか」
- 9月 五街道雲助氏(本名：若林恒夫氏)の名誉区民顕彰を決定
- 11月 新たな複合施設「すみだ保健子育て総合センター」オープン
*愛称は「すみほこ」

2024(令和6)年

新札発行、紙幣の人物が一万円札は渋沢栄一に、五千円札は津田梅子に、千円札は北里柴三郎となった

2025(令和7)年4月から10月

EXPO2025 大阪・関西万博開催

2026(令和8)年3月

江戸東京博物館リニューアルオープン



No.100

2026. 8 令和8年

100号記念 これまでの10年
これからの10年

Future

2035年の墨田区を表すキャッチフレーズ

人がつながり 夢をカタチに 墨田区



まちづくりの
基本理念

「人」が主役で
あること

「つながり」を
活かすこと

「まちの個性」を
磨き続けること



墨田区では10年後(2035年)のめざすべきまちの姿を描く「墨田区基本構想」を2025(令和7)年9月に策定しました。策定に当たっては、区民へのアンケートやワークショップなど、様々な方法で意見を集め、内容の検討を行いました。



墨田区基本構想

墨田区がめざす未来のまちの姿を描き、まちづくりの方向性を示すもの

墨田区基本計画

各種行政計画

3つの基本目標と9つの未来像

基本目標1

豊かな感性が磨かれる

経済・産業

新たな価値を創出し続ける
活力にあふれるまち

観光

何度でも訪れたい
憧れのまち

文化・芸術・スポーツ

多彩な魅力が豊かな心と
地域の活力を育むまち

基本目標2

あたたかい おせっかいがめぐる

福祉

つながりで地域の
しあわせを育むまち

健康・保健衛生

健やかに安心して
暮らせるまち

こども・子育て・教育

こどもの可能性が
広がるまち

基本目標3

安全で心地よい 暮らしがある

コミュニティ

多彩なつながりが地域の
力を生み出すまち

まちなみ・自然環境

日常に心地よさを
感じられるまち

まちづくり・都市基盤

安全と楽しさが
両立するまち

この墨田区基本構想では墨田区がめざす2035年のまちの姿として、区に関わる全ての人々が夢や希望を持って未来へと進むことができ、挑戦する人をみんなで支え応援することや「人と人とのつながり」に支えられながら笑顔で過ごせるまちなどを掲げています。

そんな魅力や活力あふれる墨田区をぜひ一緒に創り上げていきましょう。



詳しい情報は、
区HPで
閲覧できます





代表取締役
もと はし そう た
本橋 壮太 さん

Profile

2024年1月にIU 情報経営イノベーション専門職大学の客員准教授に就任。同年に墨田区を拠点に株式会社INSを設立。代表取締役に就任。2025年度よりIU 情報経営イノベーション専門職大学の特任教授に就任。

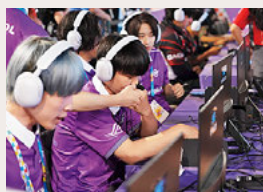
すみだから はじまる 物語 Story

墨田区をeスポーツの「聖地」に

幼い頃からゲームは好きでしたが、本気で打ち込んでいたのはサッカーでした。高校生の時、足に怪我をして続けることが難しくなり、サッカーに代わって熱中したのが、格闘ゲームでした。夢中になってプレーするうちに、次第に勝敗を競う「競技」として本気で取り組むようになりました。当時はまだ「eスポーツ」という言葉自体一般的ではなく、大会や活動の場はほとんどありませんでした。「じゃあ、つくろえない」と、大学でeスポーツサークルを立ち上げ、自ら大会を企画・運営しました。いろいろな場所で大会を開催して、いろいろな人が来てくれました。そして、趣味の延長ではなく、スポーツビジネスとして新しい価値を生み出したいと思うようになり、株式会社INSを設立しました。

私自身、サッカーができなくなったことで夢中になれる世界に出会ったように、ハンドルネームを使ってゲームの世界に入ってしまったら、年齢も性別も身体的な条件も、何も関係ありません。肩書きや属性にとらわれず自分らしい姿で活動できる、それがeスポーツ最大の魅力だと思っています。実際、チームには幼い頃から心臓病を抱え、学校にもほとんど通えなかったものの、ゲームを続けたことでプロゲーマーになった選手もいます。同じような境遇のファンからファンレターをもらうことも。eスポーツは単なるゲームではなく、誰かの人生を前向きにする力を持っているんだと実感する瞬間です。

その可能性を広げる場所として選んだのが、墨田区



はじまり エピソード

eスポーツとは、コンピューターゲームなどを使った対戦型のスポーツ競技。本橋さんは複数の大学と連携し、選手のパフォーマンスを研究。その成果を、デジタル人材の働き方にも応用する研究を進めている。

でした。区役所でのパブリックビューイングや、大学内に整備されたeスポーツチームの運営など、新しい挑戦を積極的に後押しする姿勢に触れ、「ここなら『eスポーツの聖地』を目指せる」と確信しました。今では大学や地域、企業とも連携しながら、大会やイベントづくりにも取り組んでいます。世界に通用する「グローバルビズクラブ」をつくるのが私の夢です。選手やスタッフ、サポーター、地域の皆さんと力を合わせながら、これからも新しい挑戦を続けていきたいと思っています。

あなたの夢おしえてください

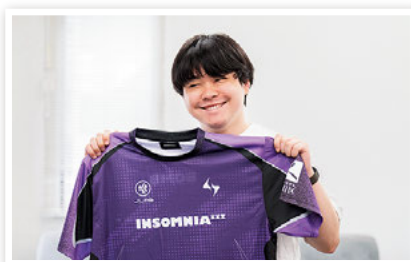
なりたい自分に、自分らしく向き合うみなさんに
すみだでふくらむ 夢・未来 を教えてもらいました!

「世界中に眠れなくなるほどの興奮を」をミッションに、eスポーツチーム「INSOMNIA」の運営をはじめ、
選手のマネジメントやプロモーション、イベント企画などを手掛ける株式会社INS。
そこで働くマネージャーと、所属選手のお二人に夢を伺いました。



あなたの夢は?

ゲームの楽しさで、
人を笑顔にしたい。



eスポーツチームINSOMNIA
VALORANT部門
MeatPieNさん

ゲームが好きで続けていたら、
いつの間にかオファーをいただき
てチームの一員になっていました。
最初は、ゲームが好きというだけ
でやっていましたが、今は好きなこ
とを仕事にしながら、人を楽しめ
られることが今の一番のやりがい
です。良いプレーで会場が盛り
上がる瞬間は最高です!

あなたの夢は?

選手が「やり切った」と
思える環境をつくりたい。



うら た
マネジメント統括 浦田さん

マネジメントとして一番大切に
しているのは、選手が一番輝く場・自
分たちの実力を発揮出来る環境を
つくることです。失敗は誰にでもあ
ります。でも、最大限やれることを
やって出た結果なら納得できる。そ
のために、自分自身も成長しなが
ら、選手と一緒に壁を乗り越えてい
きたいと思っています。

あなたの「夢」、募集しています!

【お問い合わせ】

KYOUSEICENT@city.sumida.lg.jp

【注意事項】

個人情報の取り扱いなど、詳細は下記
二次元コードより区ホームページ「あ
なたの夢募集ページ」をご覧ください。

【応募方法】

応募フォームからご応募ください。

応募フォームは
コチラ



HPに詳細が
あります



募集
テーマ

将来の「夢」の写真と
「夢」についてのエピソード



例



ペンネーム
OK!

すみなかママさん

はたらくるまが大好き。小学
生になったら少年消防団にも参
加する予定です。将来消防車に
乗りたいという子どもの夢を家
族みんなで全力で応援します!

投稿作品は、
墨田区男女共同参画情報誌
「すみなか」でご紹介
させていただきます!

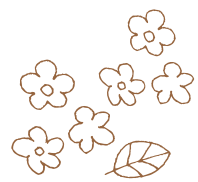


※墨田区在住、在勤、在学の方。家族等による応募可。



すみだ共生社会推進センター

「各種ご相談について」



すみなかの相談は「秘密厳守」「相談料は無料※」です。

※電話相談の場合、通話料はかかります

女性のためのカウンセリング & DV相談

自分自身の生き方、夫・子どもや家族との関係、夫・恋人(元夫、元恋人も含む)からのあらゆる暴力、性被害、セクハラなど…。カウンセラーがお聞きして、気持ちの整理や解決の糸口を探すお手伝いをします。ひとりで悩まずに、どうぞお話しください。

対象

女性限定
原則 区内在住・
在勤・在学

相談方法

面接または電話
(予約制)

相談日時

曜日(祝日・年末年始を除く)

時間

月曜日～水曜日、金曜日

午前10時～午後4時まで

第2、第4土曜日

第1、第3木曜日

午後3時～午後8時まで

※予約受付時間

月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分から午後9時まで

土曜日、日曜日、祝日(年末年始を除く)
午前9時から午後5時まで

まずは予約の
お電話を

03-5608-1771

すみだ男性悩み相談

家族やパートナーとの関係、職場での人間関係、配偶者や恋人からの暴力、自分自身の生き方、心のもやもや等、男性が抱える様々な悩みをお聞きします。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。匿名でも相談できます。

対象

男性限定
原則 区内在住・在勤・在学

※ご予約は不要です。
相談日時に直接お電話
ください。相談時間は
30分間です。相談中は、
お待たせする場合があ
ります。しばらくしてか
らおかけ直してください。

相談方法

電話

相談日時

曜日(祝日を除く)

時間

毎月第2木曜日

午後3時～午後8時まで

毎月第4金曜日

午後5時～午後8時まで

相談専用電話



03-5637-7161



すみだにじいろ相談

自分の性のあり方や性的指向に伴う相談をはじめ、多様な性に関する様々な相談に応じます。ご本人はもちろん、家族、友人、会社の同僚、学校の先生など、どなたでも相談できます。匿名でも大丈夫です。



相談専用電話



03-5637-8680

対象

どなたでも
原則 区内在住・在勤・在学

※ご予約は不要です。
相談日時に直接お電話
ください。相談時間は
30分間です。相談中は、
お待たせする場合があ
ります。しばらくしてか
らおかけ直してください。

相談方法

電話

相談日時

曜日(祝日を除く)

時間

毎月第4木曜日

午後3時～午後7時まで

すみなか事業 [予告]

8月24日(月)

● 夏休み すみなかキッズコンサート(共催)

9月3日(木)

● 女性しごと応援キャラバンinすみだ(共催)保育付き

9月26日(土)

● すみなかまつり 講演会講師:桂 文太(落語家)

10月17日(土)

● 女性限定 護身術講座「WEN-DO(ウェンドー)」

10月24日(土)

● 共に学ぼう講座第4回 アンコンシャスバイアス

11月7日(土)、11月14日(土)、
12月5日(土)

● すみだパパスクール 全3回 保育付き(ベビーダンスは親子参加)
内容:子育て講座、ベビーダンス講座、遊び方講座

ほか、実施予定

● 子育てママの講座(全3回保育付き)、働く人対象講座、共に学ぼう講座
(第5回～第7回)、講座委員会講座、登録団体主催の「すみなか講座」、
情報資料委員会交流会、にじいろカフェ

* 日時・テーマは未定

講座実施の概ね1か月前に、区報「墨田区のお知らせ」に掲載し募集を開始します。都合により講座を開催しない場合があります。ご了承ください。

※ 詳しくは区ホームページよりご確認ください。



墨田区男女共同参画推進拠点施設

すみだ共生社会推進センター ～すみなか～

◆ 開館時間 ◆

[月曜日～土曜日]
午前9時～午後9時
[日曜日・祝日]
午前9時～午後5時

◆ アクセス ◆

〒131-0045
東京都墨田区押上二丁目12番7-111号
TEL:03-5608-1771
FAX:03-5608-1770

電車の場合

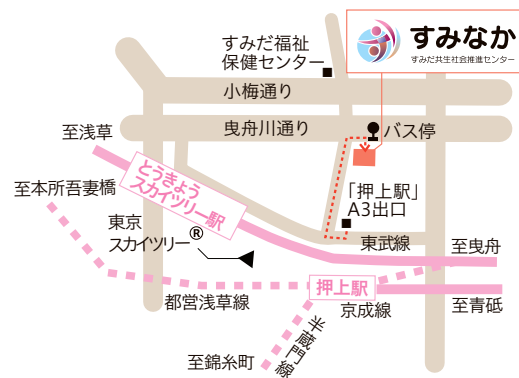


京成線・東武線・都営浅草線・
東京メトロ半蔵門線
「押上駅」下車A3出口徒歩5分
東武線
「とうきょうスカイツリー駅」下車
徒歩7分

バスの場合



都バス(錦40)
南千住駅東口ー錦糸町駅前
「向島三丁目」バス停前徒歩1分
都バス(業10)
「とうきょうスカイツリー駅」徒歩8分



区公式
HP
施設案内



女性のための
カウンセリング
&
DV相談



すみだ男性
悩み相談



すみだ
にじいろ相談



編集委員からひとこと

第1号が発行された40年前(1986(昭和61)年)の日本はバブル景気の始まりの年として記録されています。時代と共に社会は色々な出来事が起こり大きく動いてきましたが、この10年の墨田区の変化と発展は目を見張るものがあり、日々進化し続けているその鼓動は私の耳にも聞こえてくるような感じがします。

多方面から興味深く関心を寄せられ、時代の波に乗って活気にあふれている墨田区で暮らしていることを嬉しく思い、記念すべき「すみなか100号」の編集に携われたことを光栄に感じます。

これからどんな墨田区を見ることができるようでしょう…。ワクワクしています!! (高林)

すみなか編集委員会「特集」P.4～P.7、「こんにちはすみださん」P.12担当
木ノ内、高林、横山(五十音順)

墨田区 副区長

岸川 紀子さん
さしかわ のりこ

人と人をつなぎたい

「墨田区が大好き！」



岸川さんは、墨田区にとって大きな出来事である東京スカイツリー建設の広報や大学誘致の関連の職で尽力され、2023（令和5）年から墨田区初の女性副区長として活躍中です。

「副区長に指名された時にどのように感じたのか」からお話をうかがいました。

まず、私に務まるのかと不安を感じました。ただ、

墨田区が大好きで、今まで育てていただいた方たちに恩返ししたいという気持ちがありました。庁内はもとより、入庁以来40年以上の地元とのつながりがあり、その方々の応援も大きな力になりました。

管理職への道を歩めたのには、当時の上司の励ましもありました。肩ひじ張らずにやってみたらと背中を押

してくれたのです。私が出産した頃は子育て環境が整っていない時代だったので出産を機に仕事を辞める女性が多かったのですが、私は両親の助けで仕事を続けることができました。大変なこともたくさんありましたが楽しかった思いが多いです。一緒に乗り越える仲間がいたことが働いていてよかったと思うところです。

2025（令和7）年より副区長二人制となり多岐に渡る仕事を分担しています。私は主に企画、総務、子育て、福祉、教育などの分野、全体の調整を担当しています。

区長が垣根なしのフラットな組織作りを目指していて、各部署が連携することで話が速く進むようになりました。その中で一緒にがんばってきた女性たちを見て

感じたことは、女性の対応には柔軟性があり、横との連携をとるのが得意な人が多いということです。これはコロナ対策でも生かされました。当時の保健所の課長も女性がおり、以前から医療分野の多職種連携を進めていたことが迅速な対応につながりました。

子育てが一段落した頃に始めたドラムが楽しくて15年以上続けていて、バンドで演奏もします。若い人に誘われてeスポーツの大会を観に行ったりもします。好奇心旺盛で色々な分野の人と話すことが大好きなのです。

人と人をつないで、そこから新しいことが始まると、とても嬉しいです。

今、墨田区に若い人たちの転入が増えています。区もスタートアップを支援していて、地元の企業と連携し

て新しいものを生み出し、宇宙関連の事業をされる方が増えたりと多彩な人々が集まっています。

大相撲、花火、ものづくりなどの江戸文化に加え、新しいもの、多様なものも柔軟に受け入れていく文化を次世代の子ども達に引き継いでいってほしいと思います。

「まち人」です。墨田区がますます面白く、魅力的なまちに発展していることにワクワクして仕事をしています。

「墨田区基本構想」のキャッチフレーズ「人がつながり夢をカタチに 墨田区」を区の中核で実践している岸川さんのお話をうかがい、とても嬉しくなりました。

(木ノ内)

